

発議第7号

松阪地域特別支援学校整備を計画どおり実施することを求める意見書について

松阪地域特別支援学校整備を計画どおり実施することを求める意見書を次のとおり提出する。

平成27年7月10日 提出

松阪市議会議員	中 島	清 晴
	今 井	一 久
	堀 端	脩 脩
	野 呂	一 男
	中 村	良 子
	山 本	芳 敬
	大 平	勇 勇
	西 村	友 志
	田 中	力 力

松阪地域特別支援学校整備を計画どおり実施することを求める意見書

平成22年11月、三重県教育委員会は「県立特別支援学校整備第二次実施計画」の中で、知的障がいに対応する特別支援学校玉城わかば学園については、高等部生徒の増加による教室不足が生じており、今後も増加が見込まれることから、緊急の対応として暫定的にプレハブ校舎を整備したが、この地域は市町村合併で行政区域に変更があったことや、地形的にも広範な通学区域となっており、障がい保健福祉圏域における連携も必要なことから、玉城わかば学園の児童生徒の約半数が居住する松阪地域に、知的障がいに対応する特別支援学校を整備し、松阪地域における特別支援教育のセンター的機能を担う拠点校とする検討を始めた。

その後、平成23年6月と12月には、松阪市及び松阪市教育委員会からの要望も受けている。

また、平成24年3月には松阪市選出の三重県議会議員とともに、障がい者団体の代表が知事に面談し、松阪市に特別支援学校の設置を要望した。

これを受けた形で知事は、平成24年5月31日の記者会見で松阪市への整備を発表し、平成25年3月には県議会・教育警察常任委員会において「第二次実施計画(改定)」による「平成28年度内の施設完成を目指す」旨の報告がなされた。

平成25年6月には、第1回松阪地域特別支援学校(仮称)整備推進委員会が開かれ、平成27年3月の第6回整備推進委員会では「特別支援学校玉城わかば学園の教室不足を解消するため、平成29年度の開校を目指し、知的障がいに対応する松阪地域特

別支援学校（仮称）の整備を進める」内容が盛り込まれた平成 27 年 3 月付の「三重県特別支援教育推進基本計画」が報告され、松阪地域特別支援学校の整備に向け、取り組みが進められてきた。

しかし、5 月 21 日に開催された第 7 回松阪地域特別支援学校（仮称）整備推進委員会で、突然、「平成 29 年開校が間に合わない。開校の時期ははっきり言えない。開校は平成 30 年度以降ということになる」旨の報告がなされ、その理由として「震災やオリンピック等の影響から資材・人件費の高騰が原因で、このままでは入札不調・不落になる可能性がある」からとしているが、これまで子ども心身発達医療センターの体制整備に伴う特別支援学校の整備・松阪地域における特別支援学校の整備・特別支援学校東紀州くろしお学園の整備は、上記の問題が発生後も県は同時進行で進めてきたことなのに、なぜ今になって松阪地域への特別支援学校建設・開校が財政的な理由で後回しされるのか、また、建設規模縮小に伴う計画の変更など、到底納得できるものではない。

よって、三重県においては、下記の事項を順守して取り組まれるよう、強く要望する。

#### 記

- 1 「県立特別支援学校整備第二次実施計画（改定）」「三重県特別支援教育推進基本計画」に基づき財源を確保し、松阪地域特別支援学校（仮称）の整備を実施すること。
- 2 開校は平成 29 年 4 月とすること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 27 年 7 月 10 日

三重県松阪市議会議長 水 谷 晴 夫